

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	分娩後の産道血腫130例の後方視的検討
研究責任者	第一産婦人科 東 いぶき
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	経膈分娩後の産道血腫は、分娩時大量出血の原因となることがあります。産道血腫のリスク因子として、経膈分娩歴なし、吸引・鉗子分娩、会陰切開施行、妊娠高血圧症候群などが指摘されています。当院で経膈分娩した産道血腫症例のリスク因子と血腫発症率との関係を明らかにすることを目的とし、リスク評価や対応に活用致します。
研究方法	<p>【研究方法】 2011年1月から2022年12月の12年間に当院で経膈分娩された方を、母体年齢、合併症、分娩経過、産道血腫発症の有無を診療録より後方視的に検討します。</p> <p>【個人情報の保護】 この研究に関わる個人情報は、他に漏洩することのないよう慎重に取り扱います。情報・データは分析する前に住所・氏名・生年月日などの個人情報を削除し、どなたのものか特定されないように致します。</p> <p>【研究結果の公表】 研究結果の公表は、住所、氏名、生年月日などの個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や論文で公表予定です。この研究に参加を希望されない方は、当院までご連絡ください。参加を希望されなくても、不利益を被ることは一切ございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：東 いぶき、有馬 香織 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>